

第 5 章

地域の行動

地域の環境を保全し、回復させるためには、行政の環境施策を推進するとともに、市民・事業者の自発的な環境保全活動が不可欠です。

この章では、市民協働の取組として、市内6地域の「環境市民会議」が自ら考え、目指す環境の姿や現状と課題、その解決に向けた主な取組を設定しました。

なお、本章は、八王子市環境基本条例第21条に定める各地区の計画として活用します。

環境市民会議は、八王子市環境基本条例に基づき、市内を6地区に分け、各地区の市民・事業者によって自発的に環境保全活動を実践する組織として、平成14年（2002年）7月に設立されました。市民・事業者が自ら、身近な環境について話し合い、地区内の環境をより良くするために行動しており、小・中学生を対象とした環境教育の支援や自然体験講座、省エネ教室、ごみの分別講座等の活動を行うなど、地域における環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

環境市民会議の取組



学童保育での出前講座



市民向けの自然体験講座の開催



学校での環境教育の支援



市民向けの広報活動



中央地区

1 中央地区のあるべき姿

災害に強く、水生生物の生息する清らかな浅川、その周辺は緑地が広がり、運動、レクリエーション、学習の場として、人々が安心して憩う環境があり、豊かな自然と、文化・芸術・歴史・伝統を発信する施設に恵まれた八王子の中心のまち。

2 5か年の主な取組 (平成31年～令和5年)

- 地球温暖化問題に対しCO₂の排出が少ない生活の推奨やプラスチック等廃棄ごみ問題のアピール活動を行いました。
- 自然体験講座を開催し、市民が自然に親しみ、歴史を学ぶ機会を創出しました。また、小学生がみどりに親しむ支援をしました。
- 河川及び緑地環境の保全活動を継続して実施しています。巡回・調査・保全・ごみ回収などに対し、課題を持って取り組み、実態を周知しています。

3 中央地区の現状と課題

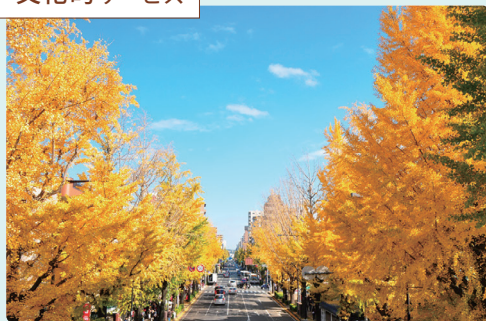
- 市民のCO₂削減行動は一定の成果があるものの大きな効果があがらず、また、海洋プラスチック問題などのごみ問題にも歯止めがかかっていません。どちらも市民の意識と行動の変容が必要です。
- 中心市街地は、樹林地が小規模で点在している状況であり、公園・緑地、街路樹、敷地内樹木の維持管理によるまちなか緑化の推進が必要です。
- 河川では生きものの生息状況の把握など生物多様性への注意が必要です。また、インフラの整備により水質は良くなりましたが、ごみのポイ捨て問題がみられます。
- 開発が難しい斜面地に緑地が残っていますが、管理状況が課題です。「里山」のイメージで管理されてきた緑地にも担い手不足の課題があるなど、様々な活動の担い手育成が急務です。

4 中央地区における今後の主な取組

項 目	取 組 内 容
地球温暖化防止のためのライフスタイルの推奨	イベントや市民センターまつり等に参加し、市民にCO ₂ 削減のライフスタイルを推奨します。
海洋プラスチック問題等環境負荷問題への対応	海洋プラスチック問題をはじめとして生活の中でのごみが環境負荷にならないような生活を推奨するとともに清掃活動を行います。
エコひろば・八王子浅川水辺の楽校運営協議会と連動した環境教育活動の支援	自然体験講座、学校の環境教育支援活動、川の学習サポーター養成講座、ガサガサ探検隊への積極的な支援を実施します。
まちのみどりの保全	地域のグリーンマップでみどりの保全への啓発を推進し、アドプト活動や小学生がみどりに親しむ機会の支援を行います。
河川を対象に巡回・調査・保全活動	河川の巡回、水質・水生生物・植物・野鳥の調査、ゴミの回収などを行い、その結果を周知します。
緑地保全活動への支援活動	館さとやまくらぶと連携し、館クリーンセンターでの緑地保全活動に協力します。

中央地区 | 代表的な自然環境と生態系サービス

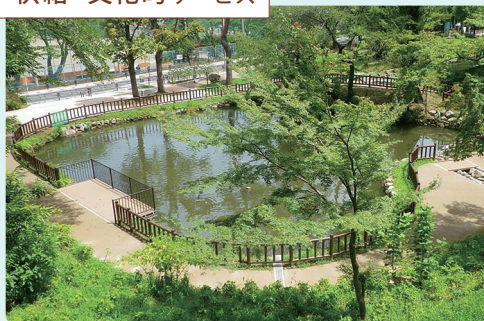
文化的サービス



甲州街道のイチョウ並木

市の木であるイチョウが甲州街道の追分交差点付近から高尾方面と市守大鳥神社より立川方面に並ぶ。

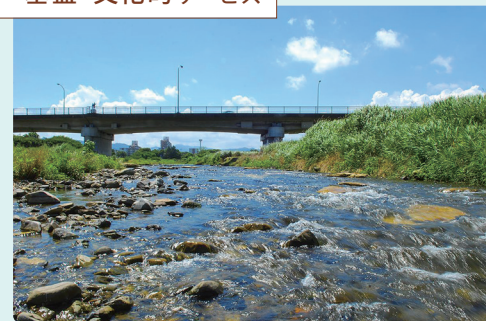
供給・文化的サービス



六本杉公園・子安神社の湧水

東京の名水57選に選ばれている。

基盤・文化的サービス



浅川水系

浅川は景観的にも価値ある一帯で、自然環境保全上有用な場所。

北部地区

1 北部地区のあるべき姿

谷地川に豊かで清らかな水が流れ、川の周辺や加住丘陵では豊かなみどりが適正に管理され、水源涵養をはじめ、NO₂の吸収や四季折々の景観などが持続的に保全されるよう町会・自治会などの地区内の各種団体と連携がはかられ、環境学習や美化活動が活発に取り組まれているまち。

2 5か年の主な取組

(平成31年～令和5年)

- 各団体と協働した緑地の保全活動を継続して実施しました。
- 環境教育学習支援として小宮小学校において「多摩川を対象に、概要調査・テーマ別調査・調べ学習・校内発表」と、学習全体を把握できるプロセスを実施しました。また、宇津木台小学校においても学習支援活動を進めています。
- 生物多様性保全のため、生態系被害防止外来種「アメリカオニアザミ」の駆除や、周知啓発用チラシの作成、チラシを活用した土地の管理者への駆除の依頼などの活動を推進しました。

3 北部地区の現状と課題

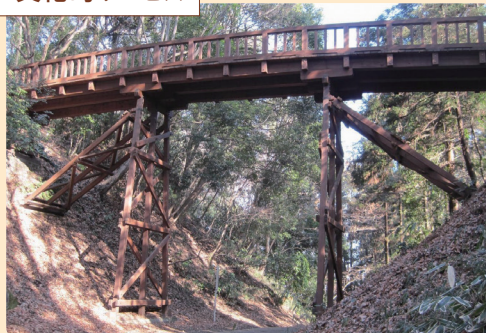
- 谷地川は流域の下水道が整備されましたが、さらなる水質の改善が求められます。
- 人の目が届きにくい場所や幹線道路沿いでごみの不法投棄が認められます。
- 加住丘陵のうち、地域活動団体による緑地保全活動が行われている地域については継続した改善がみられますが、北西部など、人の手が加えられていない地域は、樹林の荒廃が進んでおり、「ナラ枯れ」の拡大を抑制する必要があります。
- 地域内の様々な環境保全活動団体との交流を行い、地域全体としての協働活動を進める必要があります。
- 地域と連携した活動をすすめるために、環境市民会議の認知度の向上が必要です。
- 地域の小・中学生が地域にある貴重な自然資源や歴史文化を知る機会が少なく、今後、環境教育を推進するためにも支援校を増やす必要があります。
- 地域内に国道20号、国道16号、同バイパス、新滝山街道などの多くの幹線道路があります。二酸化窒素濃度はやや減少傾向ですが、大型複合商業施設の建設や道路の開通も予定されており、引き続き大気測定を継続し、現状を認識する必要があります。
- 幹線道路沿いや開発地区が十分に管理されておらず、外来生物の侵入・拡散が見られるため、今後も注視していく必要があります。

4 北部地区における今後の主な取組

項 目	取 組 内 容
谷地川の調査と清掃活動	水質・生きものの調査や清掃活動を実施します。
緑地保全活動	各種環境保全活動団体と協働して、緑地保全活動を行います。
環境教育・環境学習などの推進	地元小・中学校を対象に自然環境の中での環境教育支援を実施します。
大気汚染測定	幹線道路沿いや住宅地などで NO ₂ 簡易測定を実施します。
地域との協働活動の推進	環境マップを活用して地域住民や環境活動団体と協働した活動を進めます。

北部地区 | 代表的な自然環境と生態系サービス

文化的サービス



滝山城跡

日本有数の平山城としての歴史的価値が高い。

基盤・供給サービス



高月の田園地帯

散策などで懐かしさを感じる里山の風情を味わえる。

基盤・調整サービス



八王子大谷緑地保全地域

コナラやクヌギを中心とする明るい雑木林で、地元団体が計画的に萌芽更新を行い、維持管理している。

西部地区

1 西部地区のあるべき姿

市の約40%の面積と浅川に合流する多くの支流を擁する環境の中で、水や大気の供給源として環境の維持・改善に常に注視しながら、緑地の保全や快適な水辺の回廊・里山の整備が続けられているまち。

2 5か年の主な取組 (平成31年～令和5年)

- 川の学習、みどりの学習、ダンボールコンポスト学習など小学校の教育支援を実施しました。
 - 市民参加の自然体験講座を毎年2回開催しました。
 - 里山の保全、河川のゴミ回収、公園の清掃などみどりの環境保全活動に取り組みました。
-

3 西部地区の現状と課題

- 川口地区、恩方地区、元八王子地区の3つの自治連合町会は地理的に離れており活動が広範囲になるため、水質調査、大気測定活動などの工夫が必要です。
- 美山川口地区に新物流センターが稼働予定で、八王子西ICの利用増加が想定されるため、新たに大気測定地点を設ける必要があります。
- 高齢化などによる会員減少に対応するため、会員増強や町会との協働活動などが必要です。

4 西部地区における今後の主な取組

項 目	取 組 内 容
環境教育の支援活動	地区内の小学校を対象に、自然をフィールドにした川しらべを実施します。
自然体験講座	市民対象の地域内コースを巡る自然観察会を年2回実施します。
里山、河川、公園の環境保全活動	上川の里の自然観察会と保全活動、大沢川、城山川、あらい公園の清掃活動を行います。
河川と湧水の水質調査	大沢川、城山川、川口川（各2回）で水質検査を実施します。
大気汚染測定	主要道路を中心に年2回10箇所以上で大気汚染の測定を行います。

西部地区 | 代表的な自然環境と生態系サービス

基盤・調整サービス



上川の里

特別緑地保全地区として指定されており、自然豊かな貴重なみどりが残っている。

文化的サービス



夕やけ小やけふれあいの里

北浅川の清流と里山の原風景を残す豊かな自然環境を活かした体験学習ができる。

基盤・文化的サービス



高尾の森自然学校

一般財団法人セブン-イレブン記念財団との協働で保全管理され、豊富な自然体験プログラムが楽しめる。

西南部地区

1 西南部地区のあるべき姿

日本遺産の構成文化財に認定された高尾山をはじめ、丘陵と清流に育まれたみどりが多く、春は桜に新緑、夏はホタルの里山、秋はイチョウ並木と高尾山の紅葉などの自然や、地域の歴史文化にも触れ、散策に適したまちなみが広がり、心豊かに住み続けることのできるまち。

2 5か年の主な取組 (平成31年～令和5年)

- 高尾山の指標樹木の11年間の調査、駒木野の貴重な野草保全活動を行いました。
- 蛭が生息する池の沢の谷戸（八王子館町緑地保全地域等）の里山保全を行い、天然蛭の保護活動を進めてきました。
- 湯殿川の清掃から親しめる水辺環境の改善提案へ、さらに地域の宝と結ぶ活動へと進展しました。
- 次世代を担う市立小学校の環境教育支援を重視し、エリア内7校の支援体制を整え、実施しました。

3 西南部地区の現状と課題

- 高尾山は多様な動植物が生息する固有の生態系と歴史が残る貴重な山で年間300万人が訪れる一大観光地です。しかし、不法採取や踏み入り、生態系への悪影響や人工物増加による景観の悪化が懸念されます。
- 荒廃がすすむ里山や山林の保全管理、大気汚染、不法投棄、自然・文化・歴史等の地域の宝の周知不足など多様な問題に対し、地域と連携して取り組んでいく必要があります。
- 河川は水質改善され、広い範囲でホタルの復活が確認されています。しかし、ごみや雑草木の放置状態から親しまれる水辺の環境保全活動を行う必要があります。
- 環境教育は身近な環境とふれあい、環境への関心をもたせる様々な体験学習が必要です。

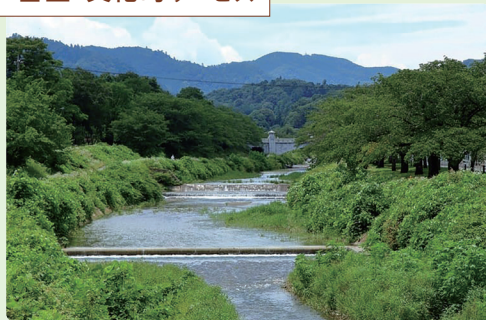
4 西南部地区における今後の主な取組

項 目	取 組 内 容
高尾山の環境保全活動	自然・景観の調査、観察を行い提案し、改善活動を行います。
地域の宝の掘り起こし	埋もれた自然や建造物、史跡等の地域の宝を掘り起こし、自然体験講座や地域の行事に参加し、周知します。
里山の保全活動	里山保全活動や自然体験講座・観察会を町会・自治会・他団体などと連携し実施します。
親しみのある水辺環境の構築	河川の水質調査や清掃活動を実施し、また、水辺環境を調査し提案改善をはかります。
生活環境保全	大気汚染の調査、不法投棄のパトロールやみどりの保全に努め、また、まちなみ等の景観を調査し地域の環境保全に取り組みます。
環境教育支援	学校や地域の特徴に応じた環境教育を支援します。
地域の活動との連携	いちょう祭り・市民センターまつり等の行事に出展するなど地域と連携して活動します。

西南部地区

代表的な自然環境と生態系サービス

基盤・文化的サービス



南浅川

小仏川を源流とする南浅川は環境学習の場としても活用されている。

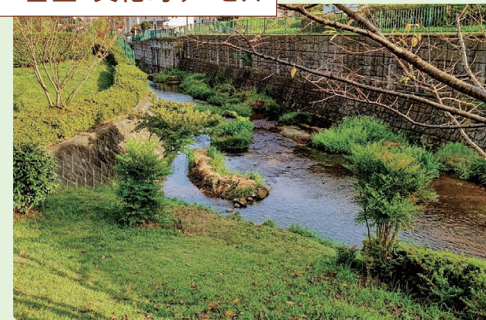
基盤 サービス



池の沢の谷戸

八王子館町緑地保全地域を中心とした池の沢の谷戸にはゲンジボタルやヘイケボタルが生息している。

基盤・文化的サービス



湯殿川

歴史と文化に囲まれた湯殿川に蛍が復活し、夏の風物詩になっている。

東南部地区

1 東南部地区のあるべき姿

きれいになった浅川、湯殿川、兵衛川や丘陵のみどりなど、豊かな自然と親しむことができるまち。河川や道路、公園など、たばこやごみのポイ捨てがないきれいなまち。地域の方々が環境に意識を持って行動するまち。

2 5か年の主な取組 (平成31年～令和5年)

- 宇津貫緑地で地域の方々と荒れた竹林を整備し、伐採した竹を再利用した親子の工作の講座を催しました。
- 毎月、北野駅周辺の道路と湯殿川・下田橋周辺、大塚山公園の清掃し、まちの美化に努めました。
- 「片倉城跡公園」、「片倉つどいの森公園」をフィールドとした自然観察会や湯殿川探鳥会を開催し、自然に親しむ活動を実施しました。

3 東南部地区の現状と課題

- 下田橋周辺は北野駅にも近く、人の往来が多い場所であることから、川の土手や河川敷にごみのポイ捨てが見られます。
- たばこのポイ捨ても多くあり、清掃活動とともに喫煙マナーキャンペーンで啓発活動を行う必要があります。
- 地域の学校の環境学習の支援をしていますが、支援者の高齢化とともに支援者が不足しています。
- ごみの分別は概ね良好ですが、さらなるごみの減量として生ごみの資源化を進めるため、生ごみの回収が求められます。

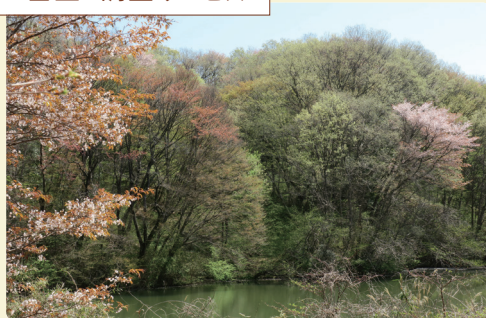
4 東南部地区における今後の主な取組

項 目	取 組 内 容
駅周辺のきれいさ評価や公園、川、町の清掃活動	地区内の6駅周辺でゴミを拾い、分別、集計、グラフ化して状況を把握します。 毎月1回、北野駅周辺・下田橋周辺と大塚山公園の清掃活動を継続します。
河川の水質調査と大気汚染調査	5河川14カ所の水質調査を年1回、実施します。大気汚染調査は9カ所の測定場所で年2回、実施します。
環境フェスティバル・市民センターまつりへの出展	活動の紹介パネルやワークショップを通じて、市民が環境への関心が向くよう、啓発活動を実施します。
子どもたちに環境をテーマとした講座の開催・ 川の学習支援、みどりの学習の支援	「クールセンター八王子」と共催し、親子向けの太陽熱の実験や自然エネルギーの講座などを実施します。
地域の自然や歴史の調査、勉強会、 自然体験講座の実施	地域の自然・歴史を学習し、親子参加の体験型の自然体験講座を実施します。

東南部地区

代表的な自然環境と生態系サービス

基盤・調整サービス



宇津貫緑地

雑木林、谷戸など里山として動植物が豊富である。

基盤・文化的サービス

片倉城跡公園
・片倉つどいの森公園
市民が自然に親しみやすく、探鳥会や観察会にも適している。



文化的サービス



大塚山公園と絹の道

多摩丘陵の自然とかつての産業や歴史を学べる。

東部地区

1 東部地区のあるべき姿

緑連なる多摩丘陵には豊かな生態系が様々な生きものにより構成されており、重要里地里山にも選定されているこの地域の自然が、人びとの生活に潤いを与えるまち。

2 5か年の主な取組 (平成31年～令和5年)

- 地区の環境関連団体と交流しながら、里地里山の保全や文化の継承活動をすすめました。
- 川の学習や里山の水田学習、カイコやシルクの体験授業など、幼稚園・小学校での環境教育を支援しました。
- 多摩丘陵での自然体験講座や里地里山の体験講座を開催し、自然への市民の親しみを向上させました。
- ウェブサイトの開設や各種のマップ・刊行物を発行して、情報を発信しました。

3 東部地区の現状と課題

- 多摩丘陵の開発がすすみ、谷戸の水田や里山林などが手入れされず放置されているため、重要湿地(トウキョウサンショウウオの生息地)を含めた自然環境の保全・再生が急務です。
- 重要里地里山や重要湿地などの豊かな自然が地域にあることを市民に周知し、地域の環境活動への若い担い手の参加を促し、活動の継承をはかる必要があります。

4 東部地区における今後の主な取組

項 目	取 組 内 容
里地里山の保全活動	重要里地里山である長池公園や八王子堀之内里山保全地域などで、里山・谷戸の環境を地区の環境関連団体と連携して保全します。また、重要湿地での絶滅危惧種の保護活動を進めるほか、地域の里山文化の継承をはかります。
豊かな緑の環境維持	地域の環境を緑豊かなものにしたり、清掃活動に参加して、市民の生活の質の向上に寄与します。
環境のモニタリング	生物多様性について系統的な調査を継続して実施するほか、河川の水質(COD、大腸菌数)の定期的な検査や大気汚染(NO ₂)の市民計測活動に参加します。
環境教育の支援	川の学習や里地里山里池での水田や環境学習・カイコやシルクの体験授業などを支援することにより、次世代を担う児童に地域のすばらしい自然と文化を伝えます。また里山にかかわる工芸などの体験の機会を設け、環境学習拠点の整備とその運営に協力します。
市民による豊かな自然の理解の増進	地区の里地里山の豊かな自然や生物多様性を市民に紹介するために、自然観察路、樹木、みどりの道マップや里山の植物誌のリーフレットなどを刊行・配布します。ウェブサイトを活用して地区の様々な自然や文化・歴史を紹介し、自然体験講座などの催しの周知や環境市民会議の学習会などの成果を記録し、市民に発信します。東京都無形民俗文化財(民俗技術)「南多摩のメカイ製作技術」の継承と後継者養成の活動を支援します。

東部地区

代表的な自然環境と生態系サービス

基盤・文化的サービス



長池公園

重要里地里山や自然共生サイトに選定されており、地域の固有種や絶滅危惧種の保全がはかられている。

基盤・調整サービス



多摩丘陵
(由木地区)

重要里地里山として選定されており、谷戸の湧水湿地に高い生物多様性が認められる。

文化的サービス



タマノホシザクラ

多摩丘陵で発見されたサクラで、下向きに花が咲き、星形のがく片を示す。

